

2015年3月期 第3四半期決算



現況と今後の展望(決算説明会資料)



ラウンドワン ストラットフォード店：米国イリノイ州シカゴ
2014年10月17日 オープン！

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 市場第1部

Code Number: 4680

2015年2月10日

2015年3月期 第3四半期 連結決算の分析(前期実績対当期実績)

(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		単位	2014年3月期 (2013.4~2013.12) 前期実績	2015年3月期 (2014.4~2014.12) 当期実績	増減
店舗	四半期末店舗数	店舗数	114	118	+4
	四半期中店舗稼働月数	月数	1,021	1,032	+11
			2014年3月期 (2013.4~2013.12) 前期実績	2015年3月期 (2014.4~2014.12) 当期実績	増減
損益	ボウリング		195	174	△21
	アミューズメント		253	273	+20
	カラオケ		60	63	+2
	スポッチャ		75	80	+4
	その他		20	19	△0
	総売上		605	611	+5
	売上原価		542	564	+21
	売上総利益		63	47	△15
	販売費及び一般管理費		12	12	+0
	営業利益		50	34	△16
	営業外損益		△17	△2	+14
	経常利益 ※①		33	31	△1
	売上高経常利益率		5.5%	5.2%	△0.3%
	特別損益 ※②		△263	△4	+259
税引前四半期純利益		△230	27	+257	
法人税等調整額		△86	※③ 8	+95	
四半期純利益		△144	18	+162	

備考	
※①【経常利益の差異要因】	
(前期実績) 経常利益	33.3億円
(注) 賃借料の増加	△35.3億円
(注) 減価償却費の減少	+15.9億円
リース料の減少	+12.3億円
(注) 支払利息の減少	+10.4億円
アミューズ景品費の増加	△8.3億円
(注) 租税公課の減少	+5.8億円
売上の増加	+5.8億円
人件費の増加	△5.3億円
水道光熱費の増加	△3.7億円
その他	+0.9億円
(当期実績) 経常利益	31.8億円
(注) 大部分は前期セール・アンド・リースバックによる影響	

※②【特別損益】	
前期実績△263.7億円	
↳ セール・アンド・リースバックによる損失△263.3億円	
↳ 固定資産除却損△0.4億円	
当期実績△4.7億円	
↳ セール・アンド・リースバックによる損失△1.6億円	
↳ 固定資産除却損△3.1億円	

※③法人税等調整額のうち△2.7億円については、第1四半期に発生致しました前期セール・アンド・リースバックに伴う、土地再評価に関する一過性の繰延税金資産の計上であり、今後は、同様の大きな計上はございません。

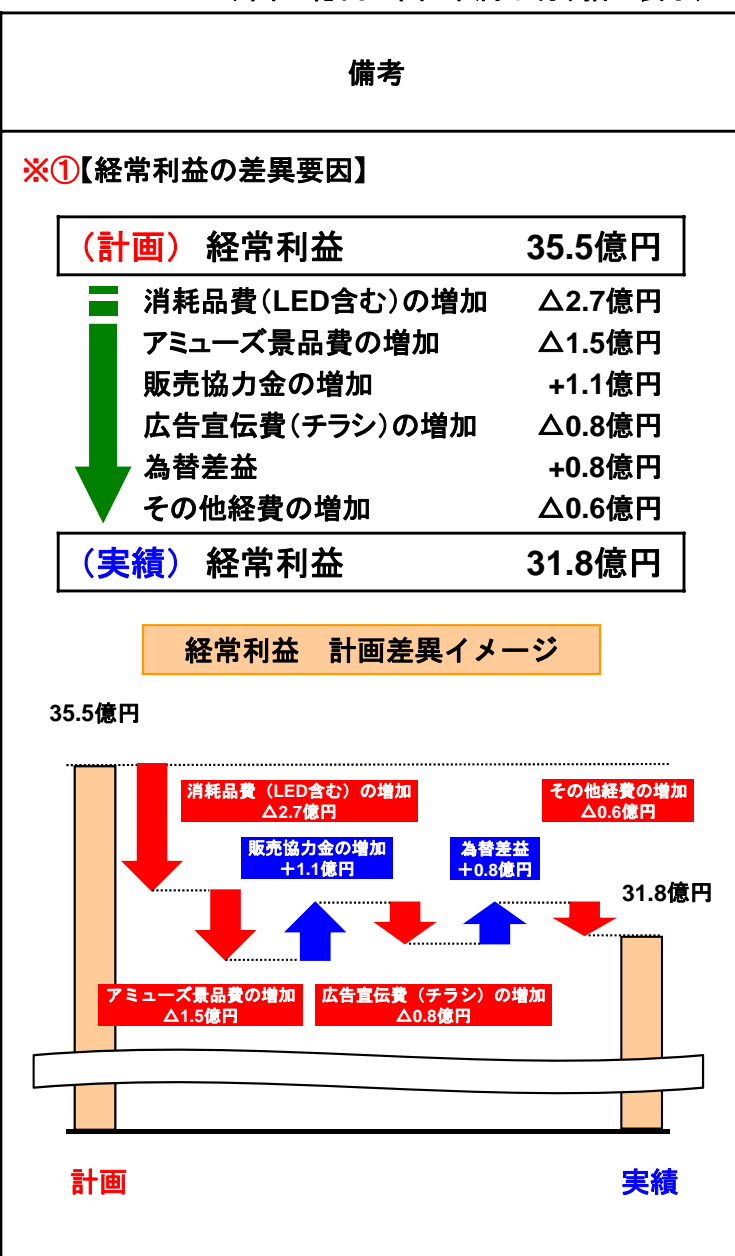
2015年3月期 第3四半期 連結決算の分析(当期計画対当期実績)

2014年11月7日発表の計画

(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		単位	2015年3月期 (2014.4~2014.12) 計画	2015年3月期 (2014.4~2014.12) 当期実績	増減
店舗	四半期末店舗数	店舗数	118	118	-
	四半期中店舗稼働月数	月数	1,032	1,032	-

		2015年3月期 (2014.4~2014.12) 計画	2015年3月期 (2014.4~2014.12) 当期実績	増減
損益	ボウリング	174	174	△0
	アミューズメント	274	273	△1
	カラオケ	63	63	+0
	スポッチャ	79	80	+0
	その他	19	19	+0
	総売上	612	611	△0
	売上原価	558	564	+5
	売上総利益	53	47	△5
	販売費及び一般管理費	12	12	+0
	営業利益	40	34	△6
	営業外損益	△5	△2	+2
	経常利益 ※①	35	31	△3
	売上高経常利益率	5.8%	5.2%	△0.6%
	特別損益	△3	△4	△1
税引前四半期純利益	32	27	△5	
法人税等調整額	10	8	△1	
四半期純利益	22	18	△4	



2015年3月期 連結四半期 実績と計画



2014年11月7日発表の計画

(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

	実績			計画			
	第1四半期	第2四半期	上期計	第3四半期	第4四半期	下期計	通期
総売上	196	221	418	193	242	436	855
売上原価	181	191	372	191	191	377	750
売上総利益	15	29	45	2	51	59	105
販売費及び一般管理費	4	4	8	4	4	8	17
営業利益	11	25	37	△2	47	50	88
営業外損益	△3	△0	△3	0	△2	△4	△8
経常利益	8	25	34	△2	44	45	80
売上高経常利益率	4.2%	11.6%	8.1%	△1.2%	18.3%	10.5%	9.4%
特別損益	0	△0	△0	△4	△8	△11	△12
税引前当期純利益	8	24	33	△6	35	34	68
法人税等調整額	0	9	10	△1	12	12	23
当期純利益	7	15	23	△4	22	21	45
既存店売上高前年比(国内)	△2.9%	+1.9%	△0.4%	+0.3%	△0.5%	+0.4%	±0.0%

(右表注) ①本社関連の費用 ②大部分は支払利息 ③内訳: 8億円(減損損失) 4億円(7ミュージメント基板の除却等)

※ 第4四半期以降は計画を記載しておりますので、第3四半期までの実績と集計しても下期計画や通期計画とは一致していません。

2015年3月期 全社売上と既存店前年比 実績と計画



◆全社売上 実績と計画 (連結ベース)

2014年11月7日発表の計画

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	実績			計画			通期
		第1四半期	第2四半期	上期計	第3四半期	第4四半期	下期計	
		ポウリング	億円	58	61	120	54	
アミューズメント	億円	86	99	185	87	103	193	379
カラオケ	億円	20	22	43	20	23	43	87
スポッチャ	億円	25	30	56	24	34	57	114
その他	億円	6	6	13	6	6	13	26
総売上	億円	196	221	418	193	242	436	855



◆既存店売上前年比 実績と計画 (米国店舗を除く)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	実績			計画			通期
		第1四半期	第2四半期	上期計	第3四半期	第4四半期	下期計	
		ポウリング	%	△16.0	△9.7	△12.9	△8.8	
アミューズメント	%	+6.0	+8.6	+7.4	+5.2	+3.7	+5.9	+6.6
カラオケ	%	+2.7	+5.4	+4.1	+1.0	△0.6	+0.2	+2.1
スポッチャ	%	+2.4	+7.4	+5.0	+4.7	△2.0	△0.6	+2.1
その他	%	△11.5	△5.9	△8.7	+5.4	+2.0	+2.7	△3.3
総売上	%	△2.9	+1.9	△0.4	+0.3	△0.5	+0.4	±0.0
土日祝 日数前年差異	日	±0	±0	±0	+1	△1	±0	±0



※ 第4四半期以降は計画を記載しておりますので、第3四半期までの実績と集計しても下期計画や通期計画とは一致していません。

2015年3月期 連結計画 ① 出店と損益



2014年11月7日開示資料から変更していません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期計画	増 減
店 舗	新規出退店数	店舗数	1	※① 4	+3
	総店舗数(期末)	店舗数	114	118	+4
	【内訳】所有店舗	店舗数	21	18	△3
	賃借店舗	店舗数	93	100	+7
	総店舗稼働月数	月数	1,363	1,386	+23
損 益	ボウリング	億円	272	249	△23
	アミューズメント	億円	349	379	+29
	カラオケ	億円	84	87	+2
	スポッチャ	億円	109	114	+4
	その他	億円	27	26	△1
	総売上	億円	842	855	+12
	営業利益	億円	100	88	△12
	経常利益	億円	78	80	+1
	売上高経常利益率	%	9.3%	9.4%	+0.1%
	当期純利益 ※②	億円	△196	45	+241

※① 2015年3月期の新規出退店・・・国内2店舗、米国2店舗(計4店舗 10ページ参照)

※② 当期純利益の計算式：

【2014年3月期 通期実績】 経常利益78.1億円 - セル・アット・リースパックによる損失292.9億円 - 減損損失20.8億円 - アミューズメント基板の除却等1.6億円
+ 法人税等調整額40.4億円 = 当期純利益△196.8億円

【2015年3月期 通期計画】 経常利益80.0億円 - 減損損失8.0億円 - アミューズメント基板の除却等4.0億円 - 法人税等調整額23.0億円 = 当期純利益45.0億円

2015年3月期 連結計画 ② キャッシュ・フロー

2014年11月7日開示資料から変更していません。

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期計画
資 金	当期純利益	億円	△196	45
	法人税等調整額 (引当・納付・還付・未収還付を合算表示)	億円	△65	42
	資金の流出を伴わない損失等	億円	308	12
	配当金額	億円	△19	△19
	減価償却費(リース取引を除く)	億円	58	38
	簡易キャッシュ・フロー	億円	84	119
	設備投資額(リース取引を除く)	億円	△37	※① △38
	保証金の差し入れによる支出	億円	△16	△0
	セール・アンド・リースバックの実施による資金の増加	億円	※② 502	※③ 36
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	532	117
	現預金残高	億円	251	272
	有利子負債残高	億円	368	270
実質有利子負債残高	億円	116	△1	

※① 2015年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約18.2億円・・・新規4店舗(国内:2店舗/約9億円 アメリカ:2店舗/約9.2億円)
- ・約20億円・・・既存店舗(一部の改装やアミューズメント基板購入他)

※② 37店舗のセール・アンド・リースバックの資金決済分

※③ 3店舗のセール・アンド・リースバックを第2四半期までに実施致しました。

(前期に減損処理をしているため、損益上の影響はありません。)

店舗数・損益状況(連結)と既存店売上前年比(国内)の推移



◆店舗・損益の推移(連結ベース)

2014年11月7日開示資料から変更してありません。

	①2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1	4	1	4
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110	113	114	118
【内訳】所有店舗	29	42	49	61	69	69	63	58	21	②18
賃借店舗	29	31	34	33	36	40	47	55	93	100

(注) ① 2006年3月期末の所有店舗には、2007年3月期以降に連結した会社が所有していた店舗を含んでおります。

② 2015年3月期において、3店舗のセール・アンド・リースバックを実施致しました。

(単位未満は切り捨て表示)

総売上	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円	859億円	842億円	855億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円	115億円	100億円	88億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	114億円	82億円	78億円	80億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	9.6%	9.3%	9.4%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	△126億円	27億円	6億円	△197億円	45億円

(注) ① 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載しております)。

◆既存店売上前年比の推移(国内店舗のみ)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	△6.5%	△4.0%	△3.7%	+0.4%	△11.3%	△10.5%	△9.6%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	△6.8%	△10.8%	△9.8%	+0.0%	△1.1%	△10.7%	△1.7%	+6.6%
カラオケ	△4.5%	+4.0%	△1.2%	△7.3%	△13.1%	+3.4%	+15.8%	△3.7%	△1.8%	+2.1%
スポッチャ	-	-	△16.1%	△9.8%	△9.2%	△4.5%	+7.5%	+0.2%	+5.1%	+2.1%
その他	△11.3%	△9.2%	+13.2%	+11.4%	△3.9%	△14.5%	+1.3%	△6.6%	△9.9%	△3.3%
総売上	+11.6%	+2.0%	△4.0%	△8.5%	△7.7%	△2.2%	+1.7%	△9.0%	△4.2%	±0.0%

(注) 米国店舗は含んでおりません。

資産等の推移(連結)



資産・純資産・実質有利子負債等の推移

2014年11月7日開示資料から変更していません。

(単位未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,282億円	2,062億円	1,271億円	④1,175億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	798億円	787億円	575億円	601億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	35.0%	38.2%	45.3%	51.1%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	253億円	251億円	272億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	368億円	270億円
保証債務 ①	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	—	—	—	—
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	116億円	△1億円
当期リース契約額 ②	156億円	159億円	145億円	122億円	137億円	106億円	91億円	81億円	70億円
リース債務期末残高	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	273億円	246億円	196億円	170億円
リース債務を含む 実質期末負債残高 ③	941億円	1,433億円	1,654億円	1,658億円	1,501億円	1,088億円	895億円	312億円	169億円

① 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により有利子負債に計上されます。

② 当期リース契約額とは、主にアミューズメント機器やカラオケ設備等の新機種を購入した際に締結するリース契約の金額です。

③ リース債務を含む実質期末負債残高とは、実質有利子負債残高とリース債務期末残高を合計したものです。

④ 2015年3月期における総資産の減少の主な要因・・・有利子負債の返済 △97億円、当期純利益の増加+ 45億円、リース債務の減少 △25億円、配当金の支払い △19億円

※ 上記のリースとはアミューズメント機器やカラオケ設備等のファイナンス・リースです。

既存店舗対策



◆3月上旬より営業時間の延長（一部店舗除く）

- 平日10時オープン ⇒ 平日8時オープンへ営業時間延長

◆無料シャトルバス88店舗で運行中（繁華街店舗除く）



シャトルバス

◆ボウリング

- ボウリング協会を主催とした『健康ボウリング教室』でシニアボウラーの育成（テスト実施中）

◆アミューズ

- 高稼働機種の数を増設

- 新規機種随時導入

メダル機 『シャドウプリンセス（KONAMI）』

ビデオゲーム 『Wonderland Wars（セガ）』

『ディズニーツムツム（KONAMI）』

『モンスターストライクMULTI BURST（KONAMI）』



シャドウプリンセス（KONAMI）



モンスターストライクMULTI BURST（KONAMI）

◆スポッチャ

- 人気の『バブルサッカー』のバブルボールを追加購入

◆広告関連

- LINEの告知メールの継続実施

- シャトルバスの発着駅に駅構内広告を随時設置

- 来期に向けて、TVCMからSNS中心の広告を検討中



バブルサッカー



LINEオリジナルスタンプ

出店計画



2015年3月期のオープン店舗

	オープン時期	出店国	店舗名 / 出店地域	店舗タイプ
1	2014年 10月3日 オープン済	日本	浜大津アーカス店 / 滋賀県	スタジアム・ロードサイド (複合商業施設内)
2	2014年 10月17日 オープン済	米国	ストラットフォード店 / イリノイ州シカゴ	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
3	2014年 10月30日 オープン済	日本	ららぽーと和泉店 / 大阪府	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
4	2014年 12月20日 オープン済	米国	アーリントン・パークス店 / テキサス州アーリントン	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)

2016年3月期以降のオープン予定店舗

(米国：年間7~8店舗の出店予定)

	オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
1	2015年 6月	米国	サンタアナ・メインプレイス店 / カリフォルニア州サンタアナ	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
2	2015年 7月	米国	シアトル・サウスセンター店 / ワシントン州シアトル	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
3	2015年 9月	米国	サンノゼ・イーストリッジ店 / カリフォルニア州サンノゼ	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
4	2015年 冬頃	日本	(仮称) 札幌すすきの店 / 北海道札幌市	スタンダード・繁華街
5	2015年 冬頃	米国	(仮称) タウントン・シルバースィティ店 / マサチューセッツ州タウントン	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
6	2016年 春頃	米国	(仮称) ベンセーラム・ネシャミニー店 / ペンシルベニア州ベンサレム	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
7	2016年 春頃	米国	(仮称) サンバレー店 / カリフォルニア州コンコード	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
8	2016年 春頃	米国	(仮称) ヨークタウン店 / イリノイ州ランパード	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)

【注意】 ・オープン予定店舗のオープン時期、出店の中止・変更、及び店舗名等は、諸事情により予告なしに変更される場合があります。

・今後の出店方針は日米ともに、原則としてテナントインによる出店に限定しております。

米国店舗の現況と今後の出店概要・出店モデル



【現在営業中の店舗】

	オープン時期	店舗名 / 地域	店舗タイプ
1	2010年 8月	プエンテヒルズ店 (カリフォルニア州 ロサンゼルス)	スタンダード・ロードサイド (プエンテヒルズモール内)
2	2012年 9月	モレノバレー店 (カリフォルニア州 リバーサイド)	スタンダード・ロードサイド (モレノバレーモール内)
3	2013年 8月	レイクウッド店 (カリフォルニア州 レイクウッド)	スタンダード・ロードサイド (レイクウッドセンターモール内)
4	2014年10月	ストラットフォード店 (イリノイ州 シカゴ)	スタンダード・ロードサイド (ストラットフォードスクエアモール内)
5	2014年12月	アーリントン・パークス店 (テキサス州 アーリントン)	スタンダード・ロードサイド (ザパークスモールアットアーリントン内)

【今後の出店方針の概要】

出店候補地	全米の既存大型ショッピングモール内への直営による居抜き出店(出店対象となるモールは全米で約900施設)
営業面積	42,000SQF(約1,200坪)~64,000SQF(約1,800坪)
商圏人口	半径5マイル(約8km)・・・15万人以上、半径10マイル(約16km)・・・40万人以上
対象顧客	ショッピングモールへの来店客(夜間は大学生を中心とした若年層) / 男女比は50%:50%を想定
平均客単価	約14ドル(1,540円)
売上構成	アミューズメント・・・約56%、ボウリング・・・約25%、飲食・・・約16%、その他・・・約3%
標準的な投資額	約600万ドル (約6.6億円⇒内訳:内装関連・・・約2.6億円、アミューズメント機器・・・約2.4億円、その他機器(ボウリング等)・・・約1.2億円、その他開業費等・・・約0.4億円)
リース費用の特性	アミューズメント機器は3年で償却、その他機器(ボウリング等)は7年で償却 ⇒ 4年目以降はリース料負担が軽減されるために利益額(利益率)が向上

※参考:1 SQF(スクエアフィート) = 約35.5坪、1マイル = 約1.6Km、1ドル = 110円で計算

【営業面積別の設備・投資額・収支例】

営業面積		42,000SQF(約1,200坪)	53,000SQF(約1,500坪)	64,000SQF(約1,800坪)
投資額	初期投資額	540万ドル(約5億9千万円)	600万ドル(約6億6千万円)	660万ドル(約7億3千万円)
	総売上	490万ドル(約5億4千万円)	530万ドル(約5億8千万円)	570万ドル(約6億3千万円)
年間収支	営業利益(初年度)	50万ドル(約6千万円)	60万ドル(約7千万円)	70万ドル(約8千万円)
	営業利益(2年度~3年度)	80万ドル(約9千万円)	90万ドル(約1億円)	100万ドル(約1億1千万円)
	営業利益(4年度~)	130万ドル(約1億4千万円)	150万ドル(約1億7千万円)	170万ドル(約1億9千万円)
	営業利益率(4年度~)	26.5%	28.3%	29.8%

店舗の状況



◆出退店の推移

	出店数		退店数		期末 総店舗数
	日本	米国	日本	米国	
～2005年3月期	51		※① 4		47
2006年3月期	11				58
2007年3月期	15				73
2008年3月期	11		※② 1		83
2009年3月期	※② 13		※① 2		94
2010年3月期	11				105
2011年3月期	3	1			109
2012年3月期	1				110
2013年3月期	3	1	※① 1		113
2014年3月期		1			114
2015年3月期 (計画)	2	2			118

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	57	1	44	2
9	57	1	44	3
9	58	1	45	5

※① 7店舗の退店理由（契約期間の満了：5店、近隣に大型店を新築：1店、テスト店舗の閉鎖（テスト期間 約2年）：1店）

※② 2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

◆エリア別店舗数（2015年1月末現在）

出店エリア	日本								米国	合計
	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	合計		
店舗数	10	4	33	14	33	8	11	113	5	118
シェア	8.4%	3.4%	28.0%	11.9%	28.0%	6.8%	9.3%	95.8%	4.2%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

当社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

◎【PC用・スマートフォン用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp/> もしくは

◎【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



※ 携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

IRお問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 TEL (072)224-5115